



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 興石 信
令和5年度 第2号
2023. 4. 21

すてきな人生の花を咲かせられるように

朝8時、生徒玄関前。「おはようございます。」と声をかけると、「おはようございます。」と元気な声がたくさん返ってきます。こんな気持ちのよい言葉が行き交う場面から「双葉中」の一日が始まります。生徒たちのさわやかな態度と言葉に清々しい気持ちになります。

季節は春から初夏の装いに変わりつつあります。校庭のツツジは今まさに見頃を迎えています。淡いピンクや深紅、白など、競うように咲いています。天気の良い日を選んで、時々、私は徒歩で通勤をしていますが、道中の庭先や路傍には、藤やハナミズキなどの木々やチューリップやパンジー、ナデシコなどの花々が、初夏の日差しを受け、気持ちよさそうに咲き誇っています。それらをよくよく注意して見ると、同じ種類の花であっても、形も色合いも背丈もどれ一つとして同じものはないことに気づきます。

本校の443名の生徒も、この花たちのように、一人一人が、育ってきている環境や性格、考え方、感じ方が異なり、その人らしさをもっているはずです。花に早咲き遅咲きがあるように、学習やスポーツの習熟度に違いがあったり、親しい友だちをすぐに作れる子、集団に入ることがなかなかできない子、人前でしゃべるのが得意な子、無口だけれど自分の考えをきちんと文章にできる子など、実にさまざまです。本校では、授業や学級活動、行事、部活動等を通して、豊かな経験の場を用意し、それぞれの良さや可能性を伸ばし、将来、一人一人が自分らしい、すてきな人生の花を咲かせることができるよう、全教職員で取り組んでいきます。

<保護者の皆様へ>

中学生の時期は、お子さまの心と体の変化に伴う言動に、どうしたらいいのか悩み、戸惑いが生じるときも出てくると思います。「自分の子どもでありながら、子どもの気持ちがわからない」—そんな場面に出くわすかもしれません。そんな時、本校の教職員は、親身になって、保護者の皆様と一緒に、子どもの成長のためにどうすべきかを考えていきます。どうすれば良いか困った時は、子どもを真ん中に置いて、家庭と学校が手を取り合い、知恵を出し合うことで、良い方法がきっと見つかるはずです。



入学式の折に、「中学時代の4C」として、新入生にお話をしました。その一部を以下に抜粋します。

「中学時代に心がけてほしいこととお話します。それは、[Chance] チャンス、[Challenge] チャレンジ、[Change] チェンジ [Charge] チャージ、の中学時代の「4C」です。私は、皆さんに、自分の限界や枠を決めないで、いろいろなことに挑戦してほしいと思っています。たくさんのチャレンジをして、たくさんの成功と失敗を経験してください。失敗があるからこそ、起き上がる力が生まれます。中学校という場は、自分自身を成長させるための皆さんの機会、[Chance] が用意されています。だからこそ、皆さんの挑戦、[Challenge] をしてください。そして、自分自身を成長・進化、[Change] させてください。そうした経験を積み重ねることにより、長い人生を生きていく上で必要な力を自分の中に蓄えること、[Charge] ができます。中学時代は、「人生の基礎体力」を充電・チャージ [Charge] するための大切な時です。[Chance]・[Challenge]・[Change]・[Charge] の「4C」をいつも心がけて行動してください。私たちは、新入生のみなさん一人一人のチャレンジを全力で応援していきます。」

中学時代は、[TRY and ERROR] (トライ アンド エラー) を繰り返しながら成長していくものだと思います。一人一人を認め、褒め、時に厳しく叱りながらも、一つ一つのトライを後押しし、エラーを成長につなげていく手助けをしていけたらと思います。ぜひ、一年間よろしく願いいたします。

修学旅行に行ってきました。 ～ 4/13・14・15 奈良・京都 ～

4月13日(木)～15日(土)の2泊3日で3年生147名が修学旅行に行ってきました。最終日の清水寺でこそ雨に



降られましたが、大きく体調をくずす生徒もなく無事に全行程を終了することができました。コロナで修学旅行が中止になったり日程を変更して実施したこともあったことを思うと、予定通りに実施でき、それぞれの生徒に大切な思い出ができて本当によかったと思っています。実施にあたり、各ご家庭に事前の健康チェック等をお願いし、お子さんの体調面等にお気遣いいただいたことに感謝しています。ありがとうございました。